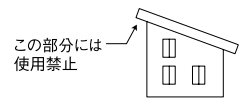


軒先換気孔 VA-200

■設計施工時の注意

- 本製品は6mm厚以下の軒天材に適合します。それ以上の厚みの軒天材には適合しませんので使用を禁止します。
- 雨漏りの恐れがありますので、片流れ屋根の大棟部分など、逆勾配の軒先に使用することは禁止します。
- 住宅金融公庫融資基準、住宅の品質確保促進法（劣化軽減等級）、性能保証住宅設計施工基準、その他の小屋裏換気の設定基準に基づく物件の場合は、必要換気面積の確保を確認したうえでお使いください。

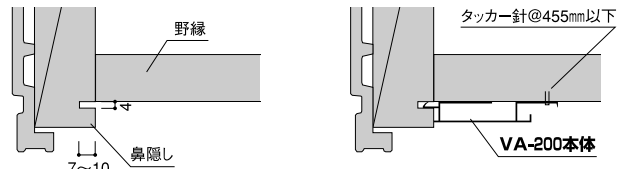
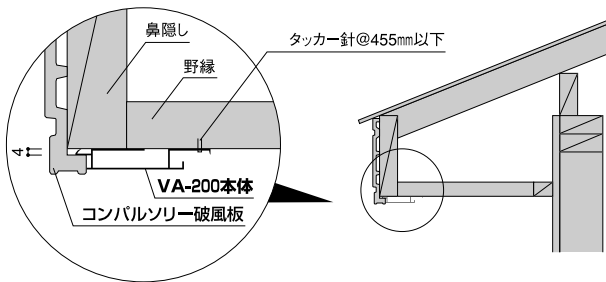


■施工手順

①製品の取付け

製品の先端を鼻隠しと破風板との間にしっかりと差し込み、軒元側をタッカー（現場調達）にて野縁（下地）に止めます（455mmピッチ以下）。

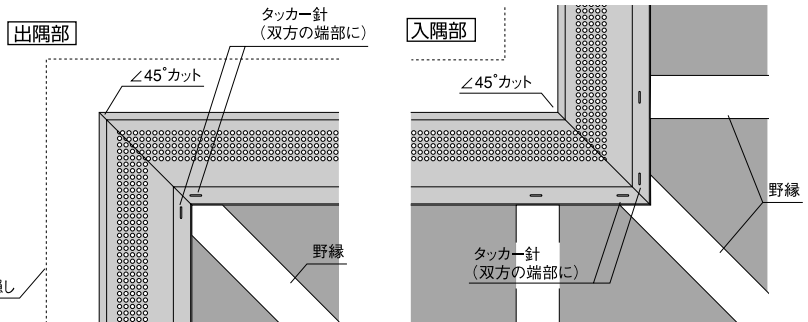
あるいは鼻隠しに深さ7～10mm、幅4mmの溝を設け、そこに製品の先端をしっかりと差し込み、同様にタッカー（現場調達）にて止めます。（455mmピッチ以下）



注意 ●製品のあばれ防止のため、タッカーは必ず下地のあるところに打ってください。

②出隅、入隅部

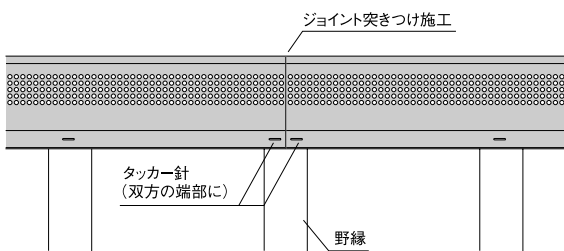
出隅、入隅部では45度カットし、突きつけて施工してください。突きつけ部は必ず双方の端部をそれぞれタッカー止めしてください。



注意 ●製品のあばれ防止のため、必ず双方の端部をそれぞれタッカー止めしてください。

③ジョイント部

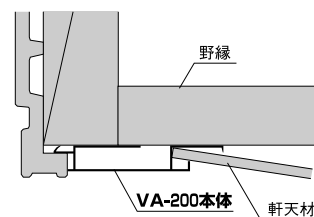
ジョイントは必ず野縁（下地）のある箇所で突きつけ施工し、双方の端部をそれぞれタッカー止めしてください。



注意 ●製品のあばれ防止のため、必ず双方の端部をそれぞれタッカー止めしてください。

④軒天板の施工

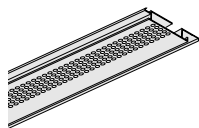
軒天板をVA-200の見切り部分に差し込む形で軒天板を施工してください。



注意 ●軒天板は必ず軒天板メーカーにて決められた釘ピッチにて止めてください。釘止めせずVA-200の見切り部分のみで軒天板を保持させると、落下の恐れがあります。

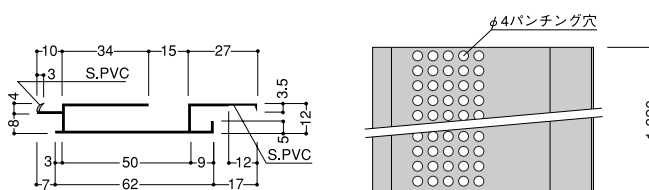
■構成部材

- 本体



■製品図

- VA-200



■参考納まり図

